



# TAKEDA Smile

Web配信 第16号  
令和5年10月  
武田中学校高等学校  
教育後援会 広報委員会

## 4年ぶりの一般公開！ 盛り上がる ☆武田祭☆

活気のある武田祭の復活。生徒も先生方も、そして何より保護者も、とても楽しみにされておられたのではないのでしょうか。夏休みが明けてすぐのイベントなので、準備はとても大変だったと思います。ステージ発表も展示発表も、とても素晴らしい出来でしたね！団結力も高まったのではないのでしょうか。

そして模擬店は、やはりお祭りらしくていいですね。来年も再来年も、ずっと活気ある武田祭が受け継がれていきますように、願っております。



### 圧巻のパフォーマンス



みんなで一致団結し、大きな筆で  
真っ白なキャンパスに大胆に勢よく  
且つ丁寧に書いていく。

リズムカルでキリッとした魅せる  
パフォーマンスも加わり、大きく飛  
躍する武田生を表現したような作品  
が出来上がりました。

広報委員 岡田浩一



### 2日目ステージ発表

中学、高校をあわせて15組のカラオケ出場の生徒たちは、この日のために  
衣装や小道具を準備したり、優勝を目指して練習を重ねて、ステージの上で  
若々しい歌声を披露しました。

それぞれ、選曲から思いをこめて熱唱…各組の紹介の中で意気込みを感じ  
させました。観客席からも一曲一曲がおわるたびに大きな拍手がわきあが  
り、歌が皆さんの気持ちに届き会場をひとつにしました。

音程をとるのが難しい『カブトムシ』をトップバッターの加納和花さんと  
市原青空さんの高校三年生コンビが見事に歌い上げ、カラオケ大会のスター  
トを盛り上げました！

特に、会場を熱く沸かせたのは『ドラえもん』を歌った高校生二人組…ラ  
ンドセル姿ののびたくんとドラえもん。イキイキしたかけあい、楽しい歌声  
がカラオケ大会のクライマックスを観客席に届けました。

そして、今回のカラオケ大会 最後の一曲は『jupiter』でした！有重芽生  
さん、花之本優華さんの抜群の歌唱力とハモリは、目をつむり聞き入るほど  
の世界観でした！

参加者の生徒さんたちの思いが伝わる素晴らしいカラオケ大会でした。コ  
ロナ禍を経て、なかなかカラオケ自体が観客席に届けられなかったこともあ  
り、今回の大会はきっと皆さんの記憶に残る素敵な思い出になったことと思  
います。来年も、どうかこの若さ溢れるエネルギーなカラオケ大会を開  
催できるよう、心から祈っています。

広報委員 斎藤和美



# 校舎まるごと アトラクション!

ゲーム、緑日、ワークショップ、展示など、趣向を凝らしたディスプレイや催してゲストをもてなしてくれました。武田祭復活で素晴らしい経験と素敵な思い出ができた事でしょう。  
広報委員 小笠原洋恵



## 本×SDGs

図書委員会の皆さんは、わかりやすい本の紹介に力をいれてます!!

本のバックナンバーが欲しい人は図書委員会へ相談しようぜ!!



## 本の面白さは超常現象♪

ポップを使った本の紹介やスタンプラリーで若者の活字離れを止めます〜♪

図書芸部渾身!!の謎解きツアーは面白かったです♪でも難しかったなあ〜



## 外国の衣装を着てその気になる〜♪



その国々の衣装の説明もわかりやすかったです。

## You've got a friend in me!!



トイ・ストーリーの魅力に引き込まれました◎

広報委員 田中正実 斎藤和美

## ちびっ子に大人気だった NO1クラス展示!!

夏休み中を使って製作した巨大な滑り台!!思わず大人も滑りたくなるくらい楽しそうて子供達に大人気♡文化祭中ずっと行列が出来ていました。

広報委員 日高慧未



## マジシャンに釘付け〜!

6号館の奥深く、制服のリサイクル販売の隣で、プロマジシャンのRYOさんがマジックを披露してくださいました。訪れたちびっこたちは、目の前で繰り広げられるマジックに興味津々! 何とか仕掛けを見破ろうとするお客様と、マジシャンとの攻防が繰り広げられました。

広報委員 川谷千晶 前田かおり



## 手作りと思えない!!

なんと綺麗なステンドグラス!!子どもたちが一生懸命に作ったことが伺える作品でした。光が射し込んできて、幻想的な風景になっていました。心が洗われる作品でした。  
広報委員 伊藤英子

## 大盛りのステージ発表♪

4年振りの一般公開が行われた武田祭。  
初日のステージはすごく華やかで楽しく、  
中でも各クラスの野球部員たちが更に盛り上げて爆笑させてくれました！  
どのクラスもアイデアが素晴らしく、  
凝った演出もすごく圧巻でみんなステージに釘付けです！  
フラダンス部は可愛らしく優雅に踊り、ダンス部はカッコ良くキメキメで、  
吹奏楽部にはその音色に魅了させられました！  
生徒たちの笑顔がとてもサイコーでした。  
3年生にとっては最後の武田祭。  
溢れるほどの思い出になったと思います！

広報委員 山下佳子 向谷美佐



## 教育後援会の裏側 ～お赤飯物語～

今回の武田祭は4年ぶりの通常開催で、私たち教育後援会も張り切っておりました。  
子どもたちに喜んでもらいたくて、色々な焼き菓子やシフォンケーキ・冷やしぜんざいなど盛り沢山で準備しました。  
中でも、甘味処のお赤飯は「炊きたて」を売りにした一番商品!!になるはずでした。

朝7時前から子どもと共に登校し、まず仕込むのはお赤飯。家庭科室の炊飯器を取り出しては、炊く準備をしていきました。  
炊き上がりを待ちつまた次の準備をし、入れる容器としゃもじもスタンバイ!  
しかしこの炊飯器、いつの年代の物かわかりませんが、炊飯スイッチを押しても「ピッ」とも鳴らなければ炊き上がっても黙っている「しずかちゃん」でした。逆に言えば、私たちは電子音に呼ばれる事に慣れてしまっているのでしょうか…!?  
よく見てあげないと、炊き終えた事すらわからず、気がついたら保温になっているのでした。  
「あらあら出来ていたのね」と蓋を開けてビックリ!!真ん中は生のもち米だらけで炊けていません。  
急ぎお酒を振り入れて再度炊飯。一升炊きなので8合分だけ入れたのに、もち米と小豆でしずかちゃんに無理をさせたのかしらと次は6合で炊いてみても結果は同じ。10台程並べたしずかちゃんを拝みながら再炊飯を繰り返しましたが、武田祭開始時間になっても予定した半分も出来ませんでした。  
本当に少しずつしか出せず、もどかしさと焦りの中で、涼しいはずの家庭科室で汗を流しておりました。

いつまで経っても生米のままの物が困っていると、奥本先生が蒸し器を出して下さいました。  
蒸し器で救済された部分は大きかったのですが、それでもまだまだ手こずりました。  
水分をたっぷり含み、蒸し過ぎてしまった物、そこにはお餅のような物が新たに生まれておりました。  
失敗と反省は取り敢えず置いておき、しばらく考え、そのお餅のようなお赤飯をつぶして丸め  
お団子用の予備のおんこで包み、急遽おはぎに!!  
役員には「何故おはぎが!?!」と困惑されながらも、作ったおはぎは完売してくれました。最高の仲間に感謝でした!!仲間は宝です♡

そんなこんなで無情にも時間だけは過ぎ、しずかちゃんとの格闘は武田祭が終わっても続いておりました。  
頑張ってきた物は、結局先生方に沢山ご購入いただきました!!  
先生方、押し売りのしのご協力下さり、本当にありがとうございました♡  
本当は武田祭で沢山売れたかったです。

来年も、子どもたちが喜んでくれるメニューを取り揃えたいのですが、もうしずかちゃんとは一緒に働けないかも知れません。  
大誤算のお赤飯作りでしたが、この経験で得た事も沢山です。  
反省も思い出もしずかちゃんも心に刻み、来年はもっと楽しめるよう高みを目指して、子どもたちと共に成長への道へと進んで行きたいと思ひます。  
教育後援会副会長 岡本 妙子



**編集後記** 武田祭の特集、いかがでしたでしょうか。  
二学期は残暑から始まり、芸術の秋を経て寒い冬へ。たくさんのイベントを取材していけたらと思います。  
皆様からの、情報やご意見もお待ちしております。

広報委員長 花之木貴子